1970年代以降のパフォーマンスおよび展覧会のビデオ記録のデジタル化・レコード化 ||

学校法人慶應義塾 慶應義塾大学アート・センター (以下KUAC)

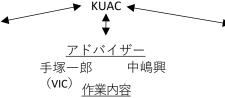
概要/課題

本事業は、戦後から現代にいたる日本のメディア芸術の諸活動を、「インターメディア」という枠組みにおいてとらえ直し、芸術史・映像史という縦軸と、同時代の様々な芸術諸活動という横軸との交差点に位置するビデオアート関連資料群に着目し、それらのデジタル化・レコード化を通じ、日本のメディア芸術史をよりよく精査可能にするための基盤構築を目指した。「インターメディア」問題とは、固有の芸術領域の閉塞状態を突破したり、そのさらなる展開を模索するために異なる芸術領域をいかに相互に関連づけ、触発しあうのかについての方法論の探求と、新たなテクノロジーへの批判的な吟味だと言える。この探求の主戦場の一つとなったのはダンスや演劇や美術や音楽におけるパフォーマンス、そして展覧会である。本事業では慶應義塾大学アート・センターが所管している「中嶋興」(1941—)および「VIC」(Video Information Center, 1972—)関連資料の中からパフォーマンスと展覧会の記録に着目し、ビデオテープと写真のデジタル化・レコード化・リスト化を行うことによって、1970年以降どのように「インターメディア」問題が模索されていたのかについて明らかにすることを目指した。そのため、中嶋とVICのビデオテープのデジタル化、レコード化、サムネイル化、およびリスト整備、中嶋のビデオテープ以外の資料のリスト整備を行うとともに、公開用のVICビデオ関連データベースを作成した(2025年4月より公開予定)。また、VICについて考えるためのイベントVIC x KUAC Chinematheque 3:状況劇場「唐版・犬狼都市」上映会——単独性と反復または記録について(2025年2月1日)を行う。

体制/手法

主たる調査・研究個人協力者:足立アン

(Collaborative Cataloging Japan) 、Nina Horisaki-Christens (メディア芸術研究者 | Columbia University) 、瀧健太郎(ビデオアーティスト)、飯田豊 (メディア論 | 立命館大学准教授)、山腰亮介(アーキビスト)、森下隆(キュレーター)、好光義也(アーティスト)



デジタル化、レコード化、サムネイル化、およびリスト化

主たる調査・研究・デジタ ル化・編集・保存協力機 関:Collaborative Cataloging Japan、埼玉県立近代美術館、 株式会社カロワークス、株式 会社東京光音

成果

■ データ

- ■デジタル化されたビデオテープ:中嶋興 = 569本/VIC = 117本
- ■ビデオテープのサムネイル作成:中嶋興1698件/VIC = 351件

■リスト

- ■中嶋興ビデオテープリスト
- ■中嶋興物リスト
- ■VICビデオテープリスト

■ イベント 主催

- ■VIC x KUAC Cinematheque 3: 状況劇場「唐版・犬狼都市」上映会 単独性と反復または記録について (2025年2月1日 | http://www.art-c.keio.ac.jp/news-events/event-archive/cinema2025-2-1/)
- ■「没後39年 土方巽を語ることXIV」 (2025年1月21日 | http://www.art-c.keio.ac.jp/news-events/event-archive/htanniv-39/)

協力

■Butoh Scores Workshops (2024年11月1-2日 | https://schwarzman.yale.edu/events/butoh-scores)

■ データベース

VICデータベースを構築 (2025年4月より運用開始)

公開リンク: https://ringed-safflower-

41a.notion.site/1c127167648980c3a96dc91c33419f7f?v=1d727167648980dcb58d000c5d9f3814







公開方法

- KUACのHPにてVICデータベース (ビデォテープ) を公開
- デジタル化したデータをKUACアーカイブにて閲覧
- ■イベントの一部は報告書およびHPにて公開

文化・社会・経済的意義

- ■ビデオに記録されている多様な芸術活動・社会的諸事 象の記録の開示による学際的・国際的研究の促進。
- ■ビデオのアーカイブ・モデルの理論的・実践的考察。
- ■ビデオ・アーカイブの活用および現在におけるクリエーションとの接続

残された課題

- ■残りのビデオテープのデジタル化
- ■中嶋興データベースの作成
- ■ビデオとアーカイブに関する有識者への取材

